

編輯室の内外

豫て募集した、道路法施行十週年を紀念

する論文も、お蔭で随分澤山に集つた。此

外道路行政及技術に關し斯界の權威者に論

文の寄稿を依頼して多數の原稿を得た、編

輯子の頗る満足するところ、就ては純然た

る學術冊子として刊行するか、夫れとも十

二月特大號として刊行するか詮議したが、

新年増大號の發行も目睫の間に迫つてゐる

のに、普通號の紙數を三四倍加するものを

特に刊行することは編輯の都合上困難を伴

ふので、十二月特大號として發行すること

にした、併し夫れにしても定例の期日に刊

行することは不可能の業であるから少々遅

延することを前以てお斷りして置く。

近頃路政が萎微して道路王國にも縛が入

つた感があるぢやないか、路政價は健在な

りや、なぞとの投書がくる、産業道路計畫

が現内閣で廢棄された今日、路政が振はな
いのは當然だが、鐵道省の自動車交通網案
を誤解しての懸念らしいから一應辯明
する。

何でも江木鐵相が、鐵道敷設法案の改訂
に手を附げやうとしたが、理想的に改訂す
ると政友會は勿論のこと民政黨地盤の線路
も廢止變更せなければならぬ、夫れに改訂
に要する鐵道建設豫算も緊縮を標榜する現

内閣では増額する譯にも行かぬ、そこで思
ひ附いたのは鐵道の敷設に代る道路の改良
だつた、妙案だと思つたのだらう、早速此
意見を發表して後で考へてみると、鐵道代

用道路だけでは改訂の趣旨を徹底する譯に
行かぬ、そこで鐵道を中心とする道路と變
更した、ところが道路は内務省の主管たか

ら之に干渉するのは事面倒となると言ふの
で、此度は一定道路網に於ける乗合自動車
だけを鐵道省が經營し、悪い道路は鐵道が
道路の管理者に出願して道路工事を執行す

ると言ふのが近頃傳へられてゐる鐵道省
の自動車交通網だ。路政に對する御注意は
難有いが夫れを考へ附いた動機と案の内容
とは叙上の通りだから御安心下さい、唯だ
道路の改良計畫に就ては緊縮内閣の時代と
は言へ茲を着て寢てゐるやうな愚策は採ら
ない覺悟、御懸念下さつた御厚意を感謝し
て健在を御返事する。(路政價)

本號定價 五十錢

一ケ年分 金六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内

發行所 社團 道路改良會

發行兼編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六

印刷所 常馨印刷所

印刷者 堀江 關武